

居合を始めるにあたって

## 居 合 の 心 ・ 目 的

居合は日本刀の威徳によって心を修むる道であって、剣道の立会  
いに対し所謂<sup>いわゆる</sup>居合の意である。

古来居合の勝負は鞘<sup>さや</sup>のうちにあるといわれている様に、抜刀の前、  
既に気でもって相手を押し、閃光<sup>せんこう</sup>一瞬に勝つ術であって敵の襲撃に  
直ちに応じて、「先」または「後の先<sup>さやばな</sup>」の鞘放れの一刀で敵を制する  
為、剣道の一分派として武士の間に創案された刀法である。

坐居の時、また歩行する時、行住坐臥<sup>ぎょうじゅうざが</sup>、あらゆる時と場所に於い  
て正しい刀法と身体の運用を習得し精神を練磨する武道である。

居合の修練には、まず形から入り心を業<sup>わざ</sup>によって養う。

正しい心・正しい礼法<sup>しんけんいちじょ</sup>・心剣一如<sup>みょうしよ</sup>の妙所を悟り、各々与えられた  
自分の天職に尽す事が目的である。

---

素直な居合いで無ければいけない。邪剣はいけない。

「真 如」＝揮毫拝受（西宮のご自宅で）

昭和 56 年金沢にて 居合道範士九段 額田 長先生より教わる